「め」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「め」で始まる語彙辞典 4

おわりに 16

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「め」で始まる語彙辞典

めい - かい【明快】
［名・形動］
筋道があきらかでわかりやすいこと。また、そのさま。「―な答弁」「単純―」

めい - かん【銘肝】
［名］（スル）
心に刻みつけて忘れないこと。銘記。「―し、教訓とする」

めい - げん【明言】
［名］（スル）
はっきり言いきること。言明。「―を避ける」「偽りのないことを―する」

めい - ざ【瞑座】
［名］（スル）
目をとじて静座すること。「―して心を無にする」

めい - しょう【名勝】
景色のよいことで知られている土地。勝地。「―の地」

めい - しょく【瞑色】
うす暗い色。夕暮れ時のほの暗い色。暮色。「―が漂う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

名実(めいじつ)相伴(あいともな)・う
評判と実際とが一致する。「―・う世界的権威」

めい - じょう【名状】
［名］(スル)
物事のありさまを言葉で表現すること。「―しがたい光景」

めい - じょう【明浄】
［名・形動］
澄みきっていて、清らかであること。また、そのさま。「―な心」

めい - たつ【明達】
［名・形動］
聡明で道理をわきまえていること。また、そのさま。「―な（の）士」

めい - だん【明断】
［名］(スル)
明快に判断すること。また、その判断。「―を下す」「事の是非を―する」

めい - ちょう【明澄】
［名・形動］
曇りなくすみきっていること。また、そのさま。「―な秋空」

めい - てつ【明徹】
［名・形動］
物事にあいまいな点がなく、はっきりしていること。また、そのさま。「―な理論」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

めい - とう【明答】
［名］（スル）
はっきりと答えること。また、その答え。「―を避ける」「即座に―する」

めい - び【明媚】
［名・形動］
山や川・湖などの景色が美しいこと。また、そのさま。「―な山水」「風光―」

めい - びん【明敏】
［名・形動］
頭の働きが鋭いこと。物事の要点や本質をすばやくさとること。また、そのさま。「―な頭脳」

めいぶん - か【明文化】
［名］（スル）
はっきり文書で書き示すこと。「規定に―してある」「決定事項を―する」

めい - べん【明弁】
［名］（スル）
はっきりと述べること。また、その弁舌。「主義主張を―する」

めい - む【迷霧】
① 方角のわからないほどの深い霧。
② 迷いの境地を霧にたとえた語。「―を払う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

めい - めい【冥冥】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 暗いさま。「―たる闇」
② 事情がはっきりせず、見通しの立たないさま。「行く先遠く―とした思い」

めい - めつ【明滅】
［名］（スル）
あかりがついたり消えたりすること。光が明るくなったり暗くなったりすること。「ネオンが―する」

めい - もう【迷妄】
道理がわからず、事実でないことを事実だと思い込むこと。「―を破る」

めい - ろう【明朗】
［名・形動］
① こだわりがなく、明るくほがらかなこと。また、そのさま。「健康で―な青年」「―快活」
② 内容をはっきりと示して、うそやごまかしがないこと、そのさま。「―な人事」「―会計」

めいわく - せんばん【迷惑千万】
［形動］［文］［ナリ］
この上なく迷惑であるさま。「―な話」

め - うつり【目移り】
［名］（スル）
他のものを見てそのほうに心が引かれること。「よい品が多くて―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

メガホンを握(にぎ)・る
《メガホンを使って指示を出すことから》
監督して映画を製作する。映画監督を務める。メガホンを取る。

目(め)から火が◦出る
頭を強くぶつけたとき、目の前が真っ暗になって光が飛び交うような感じがすることをいう。

目(め)が利(き)・く
よしあしを見分ける能力をもっている。鑑識眼がある。「刀剣に―・く」

目(め)が曇(くも)・る
見方にかたよりがあって、適切な判断ができない。「身内が相手だと―・る」

目(め)が肥・える
よいものを見慣れて、よしあしを見分ける力が増す。「古美術品には―・えている」

目頭(めがしら)が熱くな・る
深い感動のために、涙が浮かんでくる。「苦労話に思わず―・る」

目頭(めがしら)を押さ・える
目頭からこぼれ出ようとする涙を指で押さえてとどめようとする。「―・えながら葬列に加わる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目頭(めがしら)を拭(ぬぐ)・う
涙をふく。「ハンカチでそっと―・う」

目(め)が散・る
心が落ち着かず、視線がいろいろなものに向く。「―・って一つに決まらない」

目(め)が点にな・る
《漫画で、目を点のように描いて驚きの表情をあらわすことから》
びっくりする。驚く。「いきなり裸になられて―・る」

眼鏡(めがね)が狂・う
物や人物を見て評価を誤る。眼識が狂う。「情がからんで―・う」

目(め)が早・い
見つけるのがすばやい。「流行品には―・い」

目糞(めくそ)鼻糞(はなくそ)を笑う
汚い目やにが、鼻くそを汚いと言って笑う。自分の欠点には気がつかないで、他人のことをあざ笑うたとえ。

盲(めくら)蛇に怖(お)じず
物事を知らない者はその恐ろしさもわからない。無知な者は、向こう見ずなことを平気でする。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

めくら - めっぽう【盲滅法】
［名・形動］
見当をつけないで、やみくもに事をすること。また、そのさま。「―な（の）突進」

め - こぼし【目溢し】
［名］（スル）
とがめるはずのことを、わざと見逃すこと。大目に見ること。「不正を―するわけにはいかない」「お―を願い出る」

目先(めさき)が利(き)・く
先をよく見通すことができる。機転が利く。「―・かないと相場は張れない」

目先(めさき)を変(か)・える
違う印象を与えるために、その場の趣向を変える。「―・えて客を集める」

めし - か・える【召（し）替える】
［動ア下一］［文］めしか・ふ［ハ下二］
貴人が衣服を着がえたり、乗り物を乗りかえたりする。「装束を―・える」

めし - かか・える【召（し）抱える】
［動ア下一］［文］めしかか・ふ［ハ下二］
雇って家来にする。「高禄で―・える」

飯(めし)の食い上げ
収入がなくなり、生活ができなくなること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目尻(めじり)を下(さ)・げる
非常に満足そうな表情をする。また、好色そうな顔つきをする。「孫のしぐさに―・げる」

め‐だる・い【目怠い】
［形］［文］めだる・し［ク］
見ていてじれったい。まだるい。「お―・くはございましょうが、御辛抱下さい」

め‐ぢか・い【目近い】
［形］［文］めぢか・し［ク］
目のすぐ近くである。「―・く迫る山並み」

めっ‐しつ【滅失】
［名］(スル)
ほろんでなくなること。「火災で堂宇が―する」

目(め)で物を言・う
目つきや目くばせで気持ちを伝える。

目(め)に角(かど)を立・てる
ひどく怒ってにらみつける。目角(めかど)を立てる。「―・てるほどのことでもない」

目(め)に物言わ・す
目つきや目くばせで気持ちを伝える。「―・して要求をのませる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目(め)の前(まえ)が暗くな・る
めまいがして何も見えなくなる。転じて、希望が絶たれるなどしてどうしてよいかわからなくなる。目の前が真っ暗になる。「取引停止の知らせに―・る」

目端(めはし)が利(き)・く
その場に応じてよく才知が働く。機転がきく。「―・く男だから任せておけばよい」

目端(めはし)を利か・す
その場に応じて才知を働かせる。機転をきかす。「―・して利ざやを稼ぐ」

めはな - だち【目鼻立ち】
目や鼻のかっこう。顔立ち。「―の整った顔」

目鼻(めはな)を付(つ)・ける
物事の大体の決まりをつける。おおよその見通しをつける。「仕事の―・ける」

目鼻(めはな)が付(つ)・く
物事の大体のところが決まる。おおよその見通しが立つ。「計画の―・く」

目(め)引き袖(そで)引き
声を出さずに、目で合図したり袖を引いたりして、相手に自分の意志を知らせるさま。

目(め)引(ひ)き鼻(はな)引(ひ)き
目くばせや鼻先で合図して、互いの意を通じ合うこと。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目安(めやす)を付(つ)・ける
おおよその見当をつける。「一人あたま三千円と―・ける」

目(め)を晦(くら)ま・す
人の目をごまかす。見えないようにする。「追っ手の―・す」

目(め)を肥や・す
美しいもの、よいものを見て楽しむ。また、よいものを多く見てよしあしを見分ける力を身につける。「本物を見て―・す」

目(め)を皿に◦する
驚いたり、物を探したりするときに、目を大きく見開く。目を皿のようにする。「あまりのショックに―◦する」

目(め)を側(そば)・める
憎しみや恐れのために正視できず横目で見る。

目(め)を転(てん)・ずる
視線を別のものへ移す。また、視点を変える。「世界のことに―・ずる」

目(め)を剥(む)・く
怒ったり、驚いたりして目を大きく開く。「暴言に思わず―・く」

目(め)を喜ば・す
美しいもの、すばらしいものなどを見て楽しむ。「秋の野の風景が―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

めん - せき【面責】
［名］（スル）
面と向かって責めること。面詰（めんきつ）。

めん - ちん【面陳】
［名］（スル）
① 面と向かって述べること。
② 書店で、雑誌や本を棚に立て、背ではなく表紙を見せて陳列する売り方。

めん - ば【面罵】
［名］（スル）
面と向かってののしること。「衆人の前で―される」

面目（めんぼく）次第（しだい）も無・い
申し訳が立たず顔向けできない。めんぼくない。「こんな結果になってしまって―・い」

面目（めんぼく）を一新・する
ようすをすっかり改める。また、それまでの低い評価をすっかり変えさせる。「満点を取り―・する」

面目（めんぼく）を失・う
自分の名誉に傷をつける。体面をそこなう。「仲裁に失敗して―・う」

面目（めんぼく）を施（ほどこ）・す
評価を高める。体面・名誉を保つ。「優勝して―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

めん - よう【面妖】
《「めいよ（名誉）」の変化した「めいよう」がさらに変化したもの。「面妖」は当て字》
［名・形動］
不思議なこと。あやしいこと。また、そのさま。「―なこともあるものだ」

面（めん）を通・す
① 顔を見せて相手の面識を得る。「親方連中に―・す」
② 犯人などの顔を見せて確かめる。「目撃者に―・す」→面通し

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.